



環境配慮型物流・包装の推進

製造段階だけでなく、製品を輸送する物流段階においても環境負荷削減に取り組んでいます。輸送の効率化でCO₂を削減するとともに、包装材を削減して廃棄物を減らしています。

物流における環境負荷低減

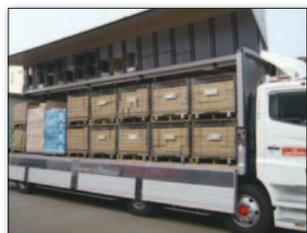
モーダルシフト、共同配送から新たな方策へ

ムラタでは、毎年目標を設定して物流時のCO₂排出量削減に取り組んでいます。2007年度は、物流委託先の協力を得て共同配送を推進したほか、輸送効率向上を図る物流網再編に着手し、関西以西での再編を完了しました。

こうした取り組みの結果、2007年度は国内の物流CO₂排出量を実質生産高原単位で2000年度比*33%以上の削減目標に対し、34%削減を達成しました。2008年度は関西と北陸エリアの物流網再編に着手する計画です。

また、2007年度以降、トラック乗務員に燃費向上や安全運転を働きかけるEMS用機器(Eco-drive Management System)やエネルギー効率の高いハイブリッドカーなど省エネ機器の導入を要請しています。2008年度はEMS機器を定期運行の大型トラックの70%に(2009年度には100%)導入し、ハイブリッドカーの配送を10%(総走行距離比)にすることを計画しています。

* 2007年度当初は、2000年度比30%以上削減を目標としましたが、中に目標値を33%に引き上げています。



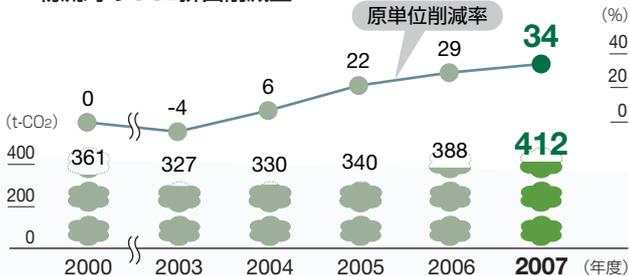
トラック積載

トラック輸送から、CO₂排出量の比較的少ない鉄道・海運利用へと転換するモーダルシフトについて継続して検討しています。



EMS用機器

▼ 物流時のCO₂排出削減量



ハイブリッドトラック



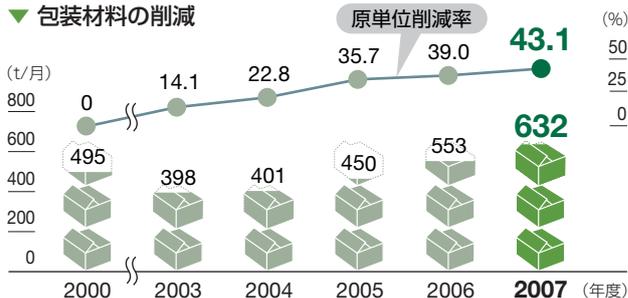
包装材料の削減

包装材料の削減については、従来から技術革新によって製品の小型化を推進することで取り組んできました。これに加えて近年、さらなる取り組みとして、段ボール使用量の削減を目的とした「外装箱の通い箱化」を推進しています。2006年度には国内全事業所間の製品運搬用に導入を完了しました。2007年度からは一部のお客様向けにも導入を開始しており、今後もその使用を拡大していく計画です。

これらの活動の結果、2007年度の包装材料は主要製品の国内テーピング数量原単位で2000年度比42%以上の削減目標に対し、43%を達成しました。

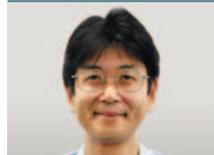
今後は、廃棄物の少ないバルクポーチ包装や省資源型のテーピング包装などの地球環境にやさしい包装の導入を働きかけていく予定です。

▼ 包装材料の削減



従業員から

「リールリユース」で包装削減の必要性を広めます



生販システム部
物流システム2課

岡野 正博

包装は、納入時の製品品質の保持のためだけではなく、お客様にとっては部品を実装する時に必要な機能も兼ねていたり、使いやすい単位での包装になっていたりします。そのため、包装材料の削減施策は、お客様のご理解・ご協力をいただくことが必要であり、削減の難しさを痛感しています。

今年は、部品実装後の使用済みリールを回収・再使用する「リールリユース」プロモーションを再度計画し、CO₂削減、お客様の廃棄物削減に寄与していきます。

▼ 新しいバルク包装の提案

従来バルクケース



省包装化

バルクポーチ包装

